



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 トランス・コスモス株式会社

コード番号 9715 URL <http://www.trans-cosmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 奥田 昌孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員CFO (氏名) 本田 仁志

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-4363-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	89,491	11.1	4,056	64.3	4,641	95.0	4,271	171.4
25年3月期第2四半期	80,535	1.9	2,469	△40.4	2,380	△41.5	1,573	△33.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,820百万円 (449.5%) 25年3月期第2四半期 1,059百万円 (△62.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	103.82	—
25年3月期第2四半期	38.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	85,105	57,638	63.4	1,311.57
25年3月期	88,420	53,301	56.4	1,212.44

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 53,960百万円 25年3月期 49,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当予想は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	48,794,046 株	25年3月期	48,794,046 株
26年3月期2Q	7,652,093 株	25年3月期	7,650,551 株
26年3月期2Q	41,142,443 株	25年3月期2Q	41,144,132 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円高是正・株高が進み、輸出の持ち直しや製造業を中心とした企業業績の改善が見られ、設備投資も増加しつつあるなど回復基調で推移する一方、新興国での経済の減速など海外経済の下振れリスクがあり、依然不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する情報サービス業界では、企業のIT投資は緩やかながら改善に向かっており、経営リソースの最適化、コスト競争力強化、業務改革などITを活用した経営効率の改善に取り組む企業が増加しております。また、EC（電子商取引）を活用したダイレクトセールスで商品・サービスの売上拡大を模索する動きも活発化してきており、これらのニーズに伴うアウトソーシング需要が拡大しております。

このような状況の下、当社グループは、お客様企業の経営効率の改善を支援するサービスの提供に注力し、既存業務の拡大や新規業務の獲得など受注の増加に繋げることができました。また、引き続き生産性向上・品質向上に努め利益率の改善に取り組んだ結果、収益面についても好調に推移しました。

一方で、お客様企業のECビジネスをグローバルで支援するアウトソーシングサービス体制の強化、推進に努めました。具体的には、アメリカのECアウトソーシング業界大手のPFSSweb, Inc.との資本・業務提携に引き続き、中国の大手ECフルフィルメント・物流企業の上海合驛物流有限公司（FineEX）と資本・業務提携を行いました。さらに韓国では、株式会社ディノス・セシールと連携し、通販ブランド「セシール」の韓国市場向けECサイト『セシールオンラインショップ』を開設しました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高89,491百万円となり前年同期比11.1%の増収となりました。利益につきましては、売上高の増加および売上総利益率の改善などにより、営業利益は4,056百万円となり前年同期比64.3%の増益、経常利益は4,641百万円となり前年同期比95.0%の増益、四半期純利益は4,271百万円となり前年同期比171.4%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(単体サービス)

当社におけるアウトソーシングサービス事業等につきましては、ITサービスの需要拡大やコスト適正化による収益性の改善の影響もあり、売上高は70,945百万円と前年同期比7.9%の増収となり、セグメント利益は3,060百万円と前年同期比68.1%の増益となりました。

(B to B国内子会社)

B to B国内子会社につきましては、第1四半期連結会計期間において、一部子会社を連結の範囲から除外した影響や受注が減少したことなどにより、売上高は10,252百万円と前年同期比3.3%の減収となり、セグメント利益は421百万円と前年同期比4.9%の減益となりました。

(B to B海外子会社)

B to B海外子会社につきましては、中国におけるオフショア開発の受注の増加などにより、売上高は8,955百万円と前年同期比6.6%の増収となり、セグメント利益は278百万円と前年同期比145.3%の増益となりました。

(B to C子会社)

B to C子会社につきましては、前第4四半期連結会計期間から一部子会社を連結の範囲に含めた影響などにより、売上高は4,450百万円と前年同期比302.8%の増収となり、セグメント利益は239百万円と前年同期比270.4%の増益となりました。

なお、セグメント利益につきましては、四半期連結損益計算書における営業利益をベースにしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,315百万円減少し、85,105百万円となりました。このうち流動資産につきましては、3,160百万円減少し、60,233百万円となりました。これは主に、借入金の返済などによる現金及び預金の減少であります。固定資産につきましては、154百万円減少し、24,871百万円となりました。これは、関係会社株式の新規取得による増加がありました。投資その他の資産のその他に含めていた訴訟仮払金が減少したことなどによるものであります。

また、負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて7,652百万円減少し、27,466百万円となりました。これは訴訟損失引当金の減少や、借入金の返済による減少などです。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べて4,336百万円増加し、57,638百万円となり、自己資本比率は、63.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,224百万円収入が増加し、3,765百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益等が増加したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において1,783百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は890百万円の収入）となりました。この主な要因は、関係会社株式の取得による支出が増加したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ1,206百万円支出が減少し、5,688百万円の支出となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出が減少したことによるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて3,506百万円減少し、29,938百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期については、お客様企業の売上拡大・コスト削減といったニーズに対し、より適合したサービスの創出に注力するとともに、中国、韓国をはじめとしたアジア市場や欧米市場での事業展開を加速させ、前期実績を上回る業績を確保することを目指しております。

なお、当社グループの事業は、あらゆる業種・業界のお客様との取引で成り立っており、変化の激しい経済環境の中、短期的な視点で企業活動の動向を見極めることは大変困難であります。よって、当社グループの平成26年3月期連結業績予想については、合理的な算定ができないため記載しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,025	29,990
受取手形及び売掛金	25,760	25,671
有価証券	41	—
商品及び製品	8	77
仕掛品	463	661
貯蔵品	24	24
繰延税金資産	1,505	1,704
その他	1,856	2,387
貸倒引当金	△291	△283
流動資産合計	63,394	60,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,283	3,288
工具、器具及び備品(純額)	2,273	2,225
土地	1,157	1,163
その他(純額)	347	467
有形固定資産合計	7,061	7,144
無形固定資産		
のれん	178	179
ソフトウェア	1,050	1,111
その他	418	393
無形固定資産合計	1,647	1,685
投資その他の資産		
投資有価証券	3,581	3,603
関係会社株式	2,801	4,057
その他の関係会社有価証券	88	70
関係会社出資金	1,349	1,780
繰延税金資産	708	481
差入保証金	4,769	4,968
その他	3,239	1,296
貸倒引当金	△221	△217
投資その他の資産合計	16,317	16,041
固定資産合計	25,026	24,871
資産合計	88,420	85,105

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,177	5,454
短期借入金	575	516
1年内償還予定の社債	570	20
1年内返済予定の長期借入金	5,879	4,018
未払金	3,135	3,093
未払費用	7,179	5,968
未払法人税等	1,245	1,100
未払消費税等	1,829	1,386
賞与引当金	3,082	3,425
その他	1,312	1,623
流動負債合計	29,986	26,607
固定負債		
社債	20	10
長期借入金	2,000	357
退職給付引当金	158	166
訴訟損失引当金	2,555	—
その他	397	326
固定負債合計	5,132	859
負債合計	35,118	27,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	29,065	29,065
資本剰余金	20,510	20,510
利益剰余金	17,297	20,087
自己株式	△15,924	△15,926
株主資本合計	50,949	53,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	561
為替換算調整勘定	△1,314	△338
その他の包括利益累計額合計	△1,065	222
少数株主持分	3,417	3,678
純資産合計	53,301	57,638
負債純資産合計	88,420	85,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	80,535	89,491
売上原価	67,289	73,119
売上総利益	13,246	16,372
販売費及び一般管理費	10,776	12,316
営業利益	2,469	4,056
営業外収益		
受取利息	39	27
受取配当金	25	27
持分法による投資利益	—	313
為替差益	—	124
デリバティブ評価益	116	—
その他	182	226
営業外収益合計	363	719
営業外費用		
支払利息	133	60
持分法による投資損失	24	—
為替差損	272	—
その他	22	74
営業外費用合計	453	134
経常利益	2,380	4,641
特別利益		
関係会社株式売却益	1,078	33
訴訟損失引当金戻入額	—	1,064
その他	51	143
特別利益合計	1,130	1,241
特別損失		
減損損失	42	100
訴訟関連損失	—	406
その他	233	56
特別損失合計	275	563
税金等調整前四半期純利益	3,235	5,318
法人税、住民税及び事業税	511	880
法人税等調整額	1,008	△32
法人税等合計	1,520	847
少数株主損益調整前四半期純利益	1,714	4,471
少数株主利益	140	200
四半期純利益	1,573	4,271

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,714	4,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△774	343
為替換算調整勘定	93	803
持分法適用会社に対する持分相当額	25	201
その他の包括利益合計	△655	1,348
四半期包括利益	1,059	5,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915	5,559
少数株主に係る四半期包括利益	143	260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,235	5,318
減価償却費	669	676
減損損失	42	100
のれん償却額	46	30
無形固定資産償却費	256	257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△71	△40
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104	337
退職給付引当金の増減額(△は減少)	437	7
受取利息及び受取配当金	△64	△55
支払利息	133	60
為替差損益(△は益)	272	△124
持分法による投資損益(△は益)	24	△313
固定資産除却損	11	13
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	△124
投資有価証券評価損	179	43
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,078	△33
関係会社株式評価損	30	—
売上債権の増減額(△は増加)	633	228
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39	△269
仕入債務の増減額(△は減少)	△477	272
その他	△938	△2,255
小計	3,195	4,129
利息及び配当金の受取額	97	97
利息の支払額	△141	△68
和解金の受取額	—	1,150
和解金の支払額	—	△350
法人税等の支払額	△610	△1,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,541	3,765

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△523	△182
定期預金の払戻による収入	492	818
有形固定資産の取得による支出	△395	△486
無形固定資産の取得による支出	△257	△431
投資有価証券の取得による支出	△30	△83
投資有価証券の売却による収入	53	548
関係会社株式の取得による支出	△77	△2,290
関係会社株式の売却による収入	1,585	516
少数株主からの株式の購入による支出	△2	—
差入保証金の差入による支出	△155	△193
差入保証金の回収による収入	153	113
その他の支出	△7	△209
その他の収入	56	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	890	△1,783
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	850	950
短期借入金の返済による支出	△1,091	△1,008
長期借入れによる収入	12	—
長期借入金の返済による支出	△4,587	△3,504
社債の償還による支出	△535	△560
少数株主からの払込みによる収入	36	—
配当金の支払額	△1,513	△1,475
少数株主への配当金の支払額	△6	△0
その他	△58	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,894	△5,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	199
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,418	△3,506
現金及び現金同等物の期首残高	35,969	33,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,551	29,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	65,551	5,809	8,070	1,103	80,535	—	80,535
セグメント間の内部 売上高または振替高	208	4,788	330	1	5,329	△5,329	—
計	65,760	10,598	8,400	1,105	85,864	△5,329	80,535
セグメント利益	1,821	443	113	64	2,442	27	2,469

(注) 1 セグメント利益の調整額27百万円は、セグメント間取引消去3百万円、のれんの償却額23百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	単体 サービス	B to B 国内子会社	B to B 海外子会社	B to C 子会社	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	70,825	5,567	8,647	4,450	89,491	—	89,491
セグメント間の内部 売上高または振替高	119	4,684	307	0	5,112	△5,112	—
計	70,945	10,252	8,955	4,450	94,604	△5,112	89,491
セグメント利益	3,060	421	278	239	3,999	56	4,056

(注) 1 セグメント利益の調整額56百万円は、セグメント間取引消去33百万円、のれんの償却額23百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。